

再生医療—医療化へのロードマップ

特別講演

角膜再生医療の実用化

西田 幸二
東北大学大学院教授

重症心不全に対する 心筋再生治療

澤 芳樹
大阪大学医学部未来医療センター長

膵島移植

—探索医療から標準治療へのStrategy—

松本 慎一
ペイラー大学（米国テキサス州）教授

パネルディスカッション

珠玖 洋【コーディネータ】

三重大学教授
NPO健康医療開発機構理事・TR研究局長

増田 智子

日経BP社日経バイオテク記者

畑中 暢代

膵島移植コーディネータ・看護師

田村 知明

オリンパス株式会社再生医療グループリーダー

大須賀 俊裕

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング専務取締役

菱山 豊

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長

佐藤 大作

厚生労働省医薬食品局安全対策課課長補佐

倉田 健児

経済産業省生物化学産業課長

参加対象 一般

2009年3月15日(日)

13:00～17:00 (開場12:30)

入場無料【定員 200名】

学術総合センター 中会議場 (2F)

主催 NPO健康医療開発機構
後援 内閣府

厚生労働省*

文部科学省

経済産業省

協賛 学校法人国際学園

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター

特別協賛 鹿島建設株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

*予定

NPO健康医療開発機構シンポジウム

再生医療

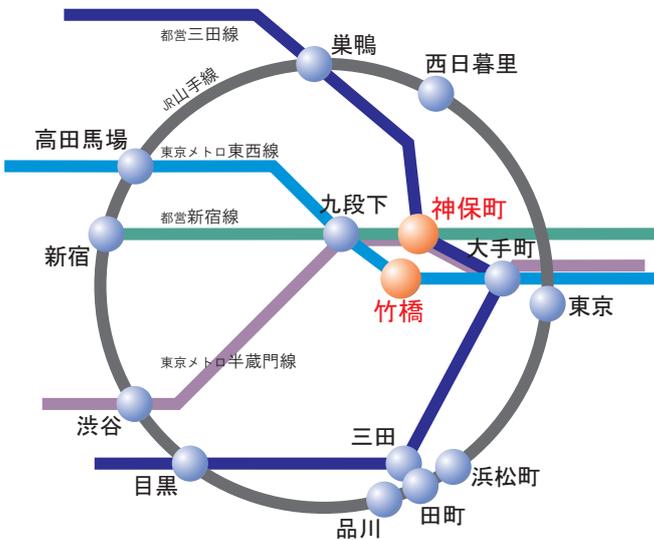
—医療化へのロードマップ—

2009年3月15日(日) 13:00~17:00
 学術総合センター 中会議場 (2F)

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2



東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅 A8, A9 出口 または 東京メトロ東西線「竹橋」駅 1b 出口 から 徒歩 3 ~ 5 分



- 申込専用web サイト (<http://sympo09.tr-networks.org>) からお申し込みください。
- 申込締切は 2009 年 3 月 11 日 (水) です。
- 定員に限りがございますのでお早めにお申し込みください。
- なお、E-mail, FAX または ハガキ でも受け付けております。お名前、所属(ご職業・お勤め先など)、ご連絡先(郵便番号、住所)、電話番号を明示のうえ、下記の事務局までお申し込みください。

シンポジウム終了後に懇親会がございますので、お時間がございましたら

お問合わせ お申し込み ●時刻: 18:00 から ●場所: 学術会館 ●会費: 3,000 円

NPO健康医療開発機構 事務局
 〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1
 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター
 DNA情報解析分野内
 TEL 03-5795-0096 FAX 03-5795-0098
 E-mail sympo09@tr-networks.org
<http://www.tr-networks.org> (入会受付中)

NPO 健康医療開発機構 TR 研究局 西田 幸二

東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座眼科視覚科学分野教授。大阪大学医学部卒。京都府立医科大学助手、米国ソーク研究所研究員、大阪大学医学部助教授などを経て現職。2004 年、患者の口腔粘膜からの再生角膜移植に世界で初めて成功。1997 年ロート賞、2005 年 Alcon Award、2006 年 Pfizer Ophthalmic Award Japan などを受賞。



NPO 健康医療開発機構 TR 研究局 澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学教授。大阪大学医学部附属病院未来医療センター長。大阪大学医学部卒。ドイツ Max-Planck 研究所(フンボルト財団研究員)、大阪大学医学部第一外科講師、大阪大学医学部外科学講座助教授などを経て現職。2007 年、患者の筋肉細胞からつくった細胞シートによる心筋再生治療に世界で初めて成功。2006 年日本バイオマテリアル学会賞などを受賞。



NPO 健康医療開発機構 TR 研究局 松本 慎一

米国ベ일러研究所膵島移植センターディレクター。神戸大学医学部卒。米国ミネソタ大学リサーチフェロー、ワシントン大学客員研究員および臨床顧問、京都大学臓器移植医療部助手、藤田保健衛生大学消化器第二外科教授などを経て現職。2004 年京都大学にて日本で初めての臨床膵島移植を実施、2005 年世界で初めて生体ドナーからの膵島移植に成功。2005 年井村臨床研究奨励賞受賞などを受賞。



NPO 健康医療開発機構 TR 研究局長 珠玖 洋

三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座教授。がんの免疫療法の開発研究と臨床研究を实践。名古屋大学医学部卒。ニューヨーク市スローン・ケタリング癌研究所研究員、名古屋大学医学部助手、長崎大学医学部腫瘍医学講座教授、三重大学医学部内科学第二講座教授、三重大学医学部長などを経て現職。日本癌学会理事などを務める。がんワクチン研究の先駆者としての功績により 2002 年読売東海医学賞を受賞。



臨床研
 究やマウスを使った実
 験で成功している再生医療の
 「種」が、だれもが受けられる医療と
 して自然に開花するわけではありません。そ
 の医療化へのロードマップは、大きな期待に
 含まれていますが、漠としています。このシンポ
 ジウムは、医療の現場で再生医療に取り組んでお
 られる方、患者さんと医療の現場を繋いでいる
 コーディネータ、ジャーナリスト、再生医療に
 取り組んでいる企業、行政の関係者に一同に
 会していただき、再生医療の未来を描く
 画期的なものです。いわゆる学術的
 なシンポジウムではありま
 せん。